

平成 26 年度 研究計画書

Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座 講師
氏名 Name	福田 義昭
専門分野 Academic Field	アラビア語・アラブ文学

平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	(1) 近代エジプト文学における「祖国」表象 (2) 戦前・戦中期の在日ムスリム・コミュニティ				
<p>1) 近代以降、中東地域には多数の国民国家が誕生した。こうした状況において、文学は各国の国民文学としての意味合いを強く持ってきた。アラブ世界の場合、20 を超える国家（地域）の文学が、同じアラビア語による文学として（前近代までの膨大なアラビア語遺産との関係など）大きな枠組みを共有すると同時に、各国の国民文学として独自の機能をも果たしてきた。そこでは、世界／イスラーム世界／アラブ世界／各国家（地域）というように何重もの空間的境界が意識され、そのなかでアイデンティティの探求がなされている。こうした探求の特質は、当然ながら、国家（地域）によってさまざまに異なるであろうが、ここでは特に（他地域に先駆けて近代化を開始した）エジプトを対象に、近代文学のなかで「祖国」がどのように観念されてきたかを研究する（関連：科研費基盤研究（C）「中東現代文学における「ワタン（祖国）」表象とその分析」[研究代表者：岡真理 京都大学教授]）。</p> <p>2) これまで神戸を中心に、昭和戦前期におけるムスリム・コミュニティの形成、モスクの建設、戦中期のコミュニティの活動などに関する論文を発表してきたが、本年度は、マスメディアの報道や文学作品などを取り上げ、彼らに対するホスト社会の視線がいかなるものであったかを分析する予定である。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	文学一般 アラブ文学	言語学 アラビア語	外国語教育 アラビア語	地域研究 アラブ世界	地域研究 イスラーム
キーワード Keywords	アラビア語	アラブ文学	近代エジプト	近代アラブ世界	在日ムスリム